



## 申4号「駅体制の見直しについて」団体交渉を申し入れ提出！ 友部駅・植田駅・小木津駅

JR 東労組水戸地本は2026年1月20日に「駅体制の見直しについて」の提案を受けました。

「駅体制の見直しについて」は、効率的な業務執行体制を構築し、生産性の向上を図り、経営体質の抜本的強化を図るため、実施するとしています。友部駅にお客さまサポートコールシステムを導入し、箇所体制を変更することが謳われています。また、委託会社においても、お客さまサポートコールシステム導入や運用拡大が行われることが示されています。

この間、統括センター化に関する体制や融合と連携に伴う教育について労使議論を積み重ねてきました。複数の業務を担うことによる組合員・社員への負担が増加し、お客さまに対する「安全」と「サービス」について懸念されます。従って今施策を組合員・社員が安全第一で働きやすい職場をめざし、お客さまサービスの向上につながる施策とするため、下記の通り申し入れました。組合員・社員の要求を実現するため、団体交渉に臨みます！

### 要求項目

- ①駅体制の見直しの目的を明らかにし、安全第一で働きやすい職場環境を構築すること。
- ②水戸統括センター（友部駅）にお客さまサポートコールシステムを導入することに伴い、友部駅の変更となる業務や業務執行体制を明らかにすること。
- ③植田駅にお客さまサポートコールシステム導入及び小木津駅にお客さまサポートコールシステム運用拡大を行う理由を明らかにすること。また、業務執行体制について明らかにすること。
- ④今施策において、組合員・社員が不安なく安心して働くために、教育・訓練等は事前に行い、働きがいを持てる施策とすること。
- ⑤無人駅及び社員が不在時間帯での券売機の故障やトラブルへの対応方法について明らかにすること。
- ⑥お客さまをお待たせしない体制を構築するため、コールセンターの体制を強化すること。

**JR東労組水戸地本は組合員・社員の要求をもとに、団体交渉を行います！**